



溝口常俊 教授

溝口常俊教授略歴・業績

〈略 歴〉

昭和23年11月8日 名古屋市に生まれる

学 歴

昭和42年3月 愛知県立明和高等学校卒業
昭和43年4月 名古屋大学文学部入学
昭和47年3月 同 史学地理学科卒業
昭和48年4月 名古屋大学大学院文学研究科修士課程史学地理学科地理学専攻入学
昭和50年3月 同 修了
昭和51年4月 名古屋大学大学院文学研究科博士課程史学地理学科地理学専攻入学
昭和54年3月 同 退学

職 歴

昭和56年4月 名古屋大学文学部助手（地理学）
昭和58年4月 富山大学教養部助教授（地理学）
平成4年8月～5年9月 カリフォルニア大学デービス校客員研究員
平成6年4月 富山大学人文学部教授（地理学）
平成8年10月 名古屋大学文学部教授（地理学）、同文学研究科担当
平成12年4月 名古屋大学大学院文学研究科教授（地理学）に配置換え。同文学部併任。
平成13年4月 名古屋大学大学院環境学研究科教授（地理学）に配置換え。同文学部併任。
現在に至る。
平成15年4月 広島大学総合地誌研究資料センター客員研究員（兼務。現在に至る）
平成17年4月 名古屋大学大学院環境学研究科社会環境学専攻長（兼務。平成18年3月まで）
平成20年4月 名古屋大学図書館商議員（兼務。平成22年3月まで）
平成22年4月 名古屋大学教育研究評議会評議員（兼務。平成23年3月まで）
平成23年4月 名古屋大学大学院環境学研究科研究科長（兼務。平成25年3月まで）
平成24年10月 名古屋大学重要文化財馬場家住宅研究センター兼任教員（現在に至る）

学 位

昭和50年3月 文学修士「日本における畑作農村の研究—畑作卓越扇状地の場合—」
平成14年9月 博士（文学）京都大学「日本近世の畑作地域史論」

学会活動

平成14年度～16年度、平成20～22年度	歴史地理学会評議員
平成18、19年度、23年度～現在	日本地理学会代議員
平成20年度～22年度	人文地理学会協議員
平成20年度～現在	史学研究会評議員
平成20年度～現在	日本南アジア学会理事
平成24年度～現在	環境共生学会理事

出張講義

昭和56、57年度	愛知教育大学教育学部
平成4、9年度	富山国際大学
平成9年度	同朋大学社会福祉学科
平成9、10年度	愛知県立大学外国語学部
平成9、14年度	国学院大学文学部
平成10年度	大阪市立大学文学部
平成11、13年度	香川大学教育学部
平成12年度	富山大学人文学部
平成13年度	京都大学文学部
平成13年度	島根大学法文学部
平成13年度	東京学芸大学教育学部
平成13年度	広島大学文学部
平成15年度	奈良大学文学部
平成17年度	九州大学文学部
平成17年度	筑波大学歴史・人類学専攻
平成23、24年度	放送大学、愛知学習センター

〈業 績〉

単 著

- 『日本近世・近代の畑作地域史研究』名古屋大学出版会、2002.12、440頁
- 『インド・いちば・フィールドワーク』ナカニシヤ書店、2006.1、186頁

共 著

- 『南アジアの定期市—カースト社会における伝統的流通システム—』古今書院、2006.10、236頁（共著者：石原潤）

編 著

- 『江戸期なごやアトラス』名古屋市総務局、1998.3、77頁

- 2 『歴史地理調査ハンドブック』古今書院、2001.5、249頁（共編者：有園正一郎、遠藤匡俊、小野寺淳、古田悦造、吉田敏弘）
- 3 『アジアの歴史地理 2 都市と農地景観』朝倉書店、2008.2、376頁（共編者：秋山元秀・金田章裕・高橋誠一・山田誠）
- 4 『藤岡20世紀のあゆみ』豊田市、2008.3、763頁（共編者：羽賀祥二、伊藤良吉）
- 5 『社会環境学の世界』日本評論社、2010.4、237頁（共著者：竹内恒夫・高村ゆかり・川田稔）
- 6 Proceedings of the 14th International Conference of Historical Geographers, Kyoto University Press, 2009.5, 313 pages (co-eds.: A. Kinda, T. Komeie, S. Minamide, K. Uesugi)
- 7 『歴史と環境—歴史地理学の可能性を探る—』花書院、2012.10、283頁（共編者：阿部康久）

監修

- 1 『古地図で見る名古屋』樹林舎、2008.10、72頁
- 2 『古地図で歩く 城下町なごや』流行発信、2010.3、83頁

共訳・監訳

- 1 『農村地理学』（H. D. クラウト著）大明堂、1973.9、251頁（共訳者：石原潤、北村修二、岡橋秀典、高木彰彦）
- 2 『20世紀環境史』（J. R. マクニール著）名古屋大学出版会、2011.9、389頁（共監訳者：海津正倫）

論文

- 1 「近世山間畑作村の構造—甲州北巨摩郡柳平村の場合—」、『人文地理』25-6、1973.12、68-86頁
- 2 「御勅使川扇状地畑作農村における行商活動」、『人文地理』28-2、1976.4、27-56頁
- 3 「甲州における近世の通婚圏」、『歴史地理学会報』95、1978.1、1-11頁
- 4 「近世における畑作農村の社会経済構造—甲州西野村の在地地主の活動を中心として—」、『人文地理』31-2、1979.4、1-24頁
- 5 「近世甲斐国における奉公人の移動に関する研究」、『人文地理』33-6、1981.12、1-24頁
- 6 「ネパール・ランタン街道における通行人の行動圏」、東京外国語大学『ヒマラヤ・チベットの生態・言語・文化に関する総合研究 YAK5』、1982.3、57-89頁
- 7 「甲州における近世焼畑村落の研究」、『名古屋大学文学部研究論集』史学28、1982.3、75-108頁
- 8 「甲州における近世焼畑村落の生業」、『名古屋大学文学部研究論集』史学29、1983.3、273-289頁
- 9 「幕藩社会確立期における家族形態の変容」、『歴史地理学』121、1983.6、17-31頁
- 10 「タミルナードゥにおける市の構成と市参加者の行動」、石原潤編『南インド農村地域における市 (market)』名古屋大学文学部、1985.3、51-75頁
- 11 「都市・村落の人口構成」、山崎謹哉編『近世歴史地理学』大明堂、1985.3、46-57頁

- 12 「焼畑村落の展開過程に関する歴史地理学的研究—飛騨白川郷を例として—」、『人文地理』38-2、1986.4、1-26頁
- 13 「カースト社会の体系」、金沢大学教育開放センター『放送(テレビ)による金沢大学公開講座「異なる文化の交流と衝突—文化人類学の視点から—』、1986.10、59-65頁
- 14 “Peddling Activities of Aluminumware Sellers in Bangladesh”, Geographical Review of Japan, vol. 60 (Ser. B), No. 1, 1987.6, pp. 83-102
- 15 「バングラデシュにおけるアルミ食器売りの行商活動」、『富山大学教養部紀要』20-1(人文・社会科学篇)、1987.8、113-138頁
- 16 “Traders in Periodic Markets”, Hiroshi Ishihara (ed.) Markets and Marketing in Rural Bangladesh, Department of Geography, Faculty of Letters, Nagoya University, 1987.3, pp. 30-49
- 17 「砺波の散村」、山崎謹哉編『地域変貌史』海青社、1988.6、121-131頁
- 18 「インド、西ベンガル州タムルク地域における市の分布と特性」、『名古屋大学文学部研究論集』史学35、1989.3、133-171頁(共著者:石原潤)
- 19 “Traders in Periodic Markets”, Hiroshi Ishihara (ed.) Markets and Marketing in West Bengal and East Nepal, Department of Geography, Faculty of Letters, Nagoya University, 1989.3, pp. 43-64
- 20 “Slash-and-Burn Field Cultivation in Pre-Modern Japan: With Special Reference to Shirakawa-go”, Geographical Review of Japan, vol. 62 (Ser. B), No. 1, 1989.6, pp. 14-34
- 21 「農業・農村の変革期」、『歴史地理学』152、1991.1、29-44頁
- 22 “Traders in Periodic Markets”, Hiroshi Ishihara (ed.) Markets and Marketing in North India, Department of Geography, Faculty of Letters, Nagoya University, 1991.3, pp. 47-66
- 23 「第三世界論」、中藤康俊編『現代の地理学』大明堂、1991.10、190-270頁
- 24 「ある職業カーストの生活」、『地理』36-11、1991.11、40-47頁
- 25 「山梨県一農民の記録『源吉日記 明治20年』分析—近代地域誌論序説—」、『富山大学教養部紀要』25-1、1992.7、91-136頁
- 26 “Studies in the Historical Geography of Japan,1988-1995”, Geographical Review of Japan, vol. 69 (Ser. B), No. 1, 1996.6, pp. 21-41
- 27 「屋久島中間村における切替畑利用の変遷」、『名古屋大学文学部研究論集』史学44、1998.3、141-154頁
- 28 「近世中期屋久島における世帯構成と生産基盤」、『名古屋大学文学部研究論集』史学45、1999.3、175-205頁
- 29 「村の歴史地理—近世の村、町続きの村—」、名古屋市『新修名古屋市史 第三巻』、1999.3、517-554頁
- 30 「江戸期尾張の中心周辺構造」、名古屋大学文学部史学科『いま、歴史資料を考える』、1999.11、113-124頁
- 31 「隠岐の地誌『増補隠州記』(1688)の分析」、『名古屋大学文学部研究論集』史学46、2000.3、39-66頁
- 32 「名古屋周辺における近世村の歴史地理」、『金沢大学文学部論集』21、2001.3、1-40頁(共著者:梶川勇作)

- 33 「地域をいかに語るか」、『名古屋大学文学部研究論集』史学47、2001.3、37-50頁
- 34 「明治17年の地籍図・地籍帳から見た尾張の景観と開発」、『愛知県史研究』第6号、2002.3、47-64頁
- 35 「地図を読む」、池田絃一・今西裕一郎編『文字を読む』九州大学出版会、2002.3、261-271頁
- 36 「文化都市をめざす高岡」、山田安彦・山崎謹哉編『歴史のふるい都市群5—北陸と信州の都市—』大明堂、2003.6、113-125頁
- 37 「明治期における尾張の土地評価体系—G. W. Skinner の中心周辺論再考—」、石原潤編『農村空間の研究(上)』大明堂、2003.3、291-308頁
- 38 「愛知県半田市における溜池とその四囲の環境変化1998-2002」、『愛知県史研究』第8号、2004.3、1-9頁(共著者:富田啓介)
- 39 「開発と援助: バングラデシュの87年洪水に遭遇して」、名古屋大学環境学研究科『人間・社会環境学の構築ワークショップ報告書』、2004.3、29-51頁
- 40 「カーストの壁」、『地理』49、2004.6、21-26頁
- 41 「近世日本の地誌と地域像—尾張藩撰地誌の世界—」、若尾祐司他編『記録と記憶の比較文化史』第3章、名古屋大学出版会、2005.1、89-112頁
- 42 「歴史家の郷土語り—地域論と県民性—」、若尾祐司他編『記録と記憶の比較文化史』第11章、名古屋大学出版会、2005.1、358-387頁
- 43 “Spatial Differentiation in the Nobi Core: Villages and Towns in Owari, Central Japan, 1672-1822”, Journal of the School of Letters, Nagoya University Vol. 1, 2005.3, pp. 127-148
- 44 「甲斐国—富士を冠する各種国絵図—」、国絵図研究会『国絵図の世界』柏書房、2005.7、75-78頁
- 45 「木曾三川治水史」、名古屋大学環境学研究科編『環境学 研究ソースブック—伊勢湾流域圏の視点から—』藤原書店、2005.12、156-159頁
- 46 「『鮫御役所日記』から見た天明飢饉と漁村—八戸藩の場合—」、『立命館大学人文学科学研究紀要』第87号、2006.3、49-63頁
- 47 「尾張藩士朝日文左衛門の描く妻の身体と外出行動」、『名古屋大学文学部研究論集』史学52、2006.3、273-286頁
- 48 「GISによる近世隠岐の村落景観」、宇野隆夫編『世界の歴史空間を読む—GISを用いた文化・文明研究—』国際日本文化研究センター、2006.6、373-386頁
- 49 「近世屋久島における夫問い婚」、『環』第26巻、藤原書店、2006.9、183-189頁
- 50 「近世社会と空間」、水内俊雄編『歴史と空間』(シリーズ人文地理学8)、朝倉書店、2006.10、40-66頁
- 51 「近世因島の過去帳」、『名古屋大学附属図書館研究年報』第6号、名古屋大学附属図書館研究開発室、2007.3、1-20頁
- 52 「東海地方の地域性 歴史的背景」、藤田佳久他編『日本の地誌7 中部圏』朝倉書店、2007.4、40-48頁
- 53 「土地関係資料—六段地帳—」、『新修名古屋市史 資料編 近世1』第4章、名古屋市総務局、2007.5、561-716頁

- 54 「尾張藩士朝日文左衛門の描く妻」、林董一編『近世名古屋 享元絵巻の世界』清文堂、2007.7、189-212頁
- 55 「『安永風土記』にみる仙台藩村落の田畑と人口—『御領分絵図』とGISによる分析—」、高木正朗編『18・19世紀の人口変動と地域・村・家族』古今書院、2008.3、32-48頁
- 56 “Historical Perspective of Water Environment in Central Japan”, Proceedings of International Seminar on Water Resources and Disaster Management at Macro and Micro Levels, 2009.9、pp. 45-56
- 57 「近世・近代の土地開発と日記にみる自然災害」、愛知県『愛知県史 別編 自然』、2010.3、517-538頁
- 58 「名古屋都心地区の変貌—黄金の近世都市から緑の未来都市へ—」、名古屋市中区『名古屋市中区誌』、2010.12、164-171頁
- 59 「『鸚鵡籠中記』にみる尾張藩士の食文化」、名古屋市中区『名古屋市中区誌』、2010.12、224-236頁
- 60 「水利と水災害の歴史」、清水裕之・檜山哲哉・河村則行編『水の環境学』名古屋大学出版会、2011.8、219-237頁
- 61 「17-19世紀の尾張平野における中心と周辺」、HGIS 研究協議会『歴史GISの地平』勉誠出版、2012.12、227-238頁

報告書

- 1 『屋久島の猿害』1997年度名古屋大学基礎セミナー実習報告書、環境学研究科地理学教室、1997.12、201頁
- 2 『隠岐』1998年度名古屋大学基礎セミナー実習報告書、環境学研究科地理学教室、1999.1、192頁
- 3 『名古屋大学文学部 地理学教室50周年記念誌』名古屋大学文学部地理学教室、1999.10、267頁
- 4 『南の島から—種子島—』2002年度名古屋大学基礎セミナー実習報告書、環境学研究科地理学教室、2002.12、187頁
- 5 『南の島から—種子島 Part 2—』2003年度名古屋大学基礎セミナー実習報告書、環境学研究科地理学教室、2004.1、106頁
- 6 『江戸・明治期における地誌の図像化による創造的地域論』平成14年度～15年度科学研究費補助金（基盤研究C2）研究成果報告書、2004.3、123頁
- 7 『藤岡の20世紀—10人の語りより—』藤岡町誌編纂委員地理班、2005.4、178頁
- 8 『藤岡の20世紀 Part 2』藤岡町誌編纂委員地理班、2005.11、268頁
- 9 『自然再生と地域環境史』国際シンポジウム報告集、名古屋大学環境学研究科、2006.2、173頁
- 10 『地域環境史を考える—所蔵資料エコ（環境共生）—』名古屋大学附属図書館、2006.3、68頁
- 11 『せとうちの生活史—いんのしま29人のあしおと—』名古屋大学地理学講座、2006.4、586頁
- 12 『地図でみる露橋の歴史—親子でみつけるつゆはしのあゆみ—』露橋小学校開校100周年記

- 念、2006.11、79頁
- 13 『海外研修&シンポジウム報告書』平成18年度魅力ある大学院教育イニシアティブ報告書、名古屋大学環境学研究科、2007.3、184頁
 - 14 『からし菜のキャンパール』平成18年度魅力ある大学院教育イニシアティブ・バン格拉デシュ班報告書、名古屋大学環境学研究科、2007.3、201頁
 - 15 “Proceedings of Historical Maps and GIS”, Nagoya University Graduate School of Environmental Studies, 2007.8, 148 pages
 - 16 “The Oxford-Kobe Environmental Seminar: The Environmental histories of Europe and Japan”, Kobe Institute, 2007.9, 275 pages
 - 17 “The Oxford-Nagoya Environmental Seminar: The Environmental histories of Europe and Japan”, Nagoya University, 2010.9, 267 pages
 - 18 『北の島から一利尻島・礼文島一』名古屋大学環境学研究科地理学教室、2007.5、80頁
 - 19 『海外調査報告書&「社会環境学のタベ」報告集』平成19年度魅力ある大学院教育イニシアティブ報告書、名古屋大学環境学研究科、2008.3、184頁
 - 20 『雨季と断食のキャンパールー現代バン格拉デシュ農村調査報告一』平成19年度魅力ある大学院教育イニシアティブ報告書、名古屋大学環境学研究科、2008.3、252頁
 - 21 『甕島一風、海そして人一』平成19年度名古屋大学基礎セミナー報告書、2008.3、171頁
 - 22 『南のフィールドワーカーインド・バン格拉デシュ・ネパール見聞録一』名古屋大学環境学研究科地理学教室、2009.3、90頁
 - 23 『2008年度 社会環境学のタベ』名古屋大学環境学研究科社会環境学専攻、2009.3、154頁
 - 24 『2009年度 社会環境学のタベ』名古屋大学環境学研究科社会環境学専攻、2010.3、155頁
 - 25 『宝島・口之島調査一僕たちが見つけた宝物一』平成21年度名古屋大学基礎セミナー報告書、環境学研究科地理学教室、2010.3、207頁
 - 26 『2010年度 社会環境学のタベ』名古屋大学環境学研究科社会環境学専攻、2011.3、101頁
 - 27 『2011年度 社会環境学のタベ』名古屋大学環境学研究科社会環境学専攻、2012.3、135頁
 - 28 『馬場家研究報告2011』名古屋大学重要文化財馬場家住宅研究センター、2012.3、306頁
 - 29 『環境学研究科教員がみた東日本大震災』名古屋大学環境学研究科、2012.3、170頁
 - 30 『戦争体験記ー2011年度名古屋大学1年生の祖父母の語りより一』名古屋大学環境学研究科地理学教室、2012.3、241頁

書 評

- 1 菊池俊夫 『続・新田開発一事例編一』、『歴史地理学』134、1986.9、47-49頁
- 2 田中圭一 『帳箱の中の江戸時代史 上』、『歴史地理学』158、1992.3、39-41頁
- 3 速水融編 『近代移行期の人口と歴史』、『人口学研究』31、2002.11、156-158頁
- 4 速水融 『江戸農民の暮しと人生一歴史人口学入門一』、『人口学研究』32、2003.5、75-76頁
- 5 米家泰作 『中・近世山村の景観と構造』、『歴史地理学』214、2003.6、47-50頁
- 6 大塚柳太郎編 『ソロモン諸島一最後の熱帯林一』、『人口学研究』34、2004.5、46-47頁
- 7 金坂清則 『イザベラ・バード極東の旅1・2』、『歴史地理学』228、2006.3、41-43頁
- 8 石原俊 『近代日本と小笠原諸島一移動民の島々と帝国』、『地理学評論』81-4、2008.5、228-230頁

- 9 渡辺理絵『近世武家地の住民と屋敷管理』、『地理学評論』81-8、2008.11、689-690頁
- 10 伊藤喜栄他編『もっと知りたい日本と世界のすがた』、『地理』53、2008.11、123頁
- 11 佐野静代『中近世の村落と水辺の環境史—景観・生業・資源管理—』、『地理学評論』82-3、2009.5、264-266頁
- 12 野外歴史地理学研究会編『近畿を知る旅』、『地図中心』453、2010.6、40頁
- 13 速水融『歴史人口学研究—新しい近世日本像—』、『人口学研究』47、2011.5、47-50頁
- 14 原田洋一郎『近世日本における鉱物資源開発の展開—その地域的背景—』、『歴史地理学』259、2012.3、40-42頁
- 15 原田信男編『地域開発と村落景観の歴史的展開—多摩川中流域を中心に—』、『社会経済史学』78-2、2012.8、119-121頁

その他（レポート、エッセイ・コラムなど）

- 1 「鹿島集落における林業経営」、名古屋大学文学部地理学教室3年次生『長野県大町市に関する若干の考察—昭和45年度実習調査報告—』、1971.3、49-65頁
- 2 「白鷹町における転出人口の実態と住民意識」、名古屋大学文学部地理学教室『山形レポート—実習報告No.2—』、1972.6、58-62頁
- 3 「一宮町 地域の概観」、愛知県教育委員会『養蚕民俗資料緊急調査報告1宝飯郡一宮町』、1976.3、1-10頁
- 4 「村絵図実長の計測」、『新修稲沢市史 資料編1 村絵図 上』、1979.8、43頁
- 5 「村絵図実長の計測」、『新修稲沢市史 資料編2 村絵図 下』、1979.11、45頁
- 6 「傾斜区分、水系・谷密度、土地利用現況」、愛知県企画部土地利用調整課『愛知県土地分類基本調査：岐阜・美濃加茂・瀬戸』、1983.1、101-105頁
- 7 「文書・典籍」、常滑市誌編纂委員会編『常滑市誌・文化財編』、1983.3、364-409頁
- 8 「傾斜区分、水系・谷密度、土地利用現況」、愛知県企画部土地利用調整課『愛知県土地分類基本調査：豊橋・田原』、1984.3、114-117頁
- 9 「歴史・地理」、春日井市史編纂委員会『春日井市史 地区史編1』、1984.3、8-424頁（共著者：林上、高木彰彦、北村修二）
- 10 「富山県高岡市と西砺波郡の農村の類型化」、農村開発企画委員会『農村の類型化とその特性に対応した整備方策の検討調査報告書』、1984.3、10-22頁
- 11 「伊勢湾とその周辺—工業栄えて漁業減ぶ—」、朝日新聞社『週刊朝日百科：世界の地理』045、1984.8、126-129頁
- 12 「瘴癘の地を旅して」、『富山大学学報』252、1984.11、22-24頁
- 13 「歴史・地理」、春日井市史編纂委員会『春日井市史 地区史編2』1985.3、10-295頁（共著者：林上、高木彰彦、北村修二）
- 14 「伝統的社会：峠越え、山越えの交流を担った人々」、中部圏開発整備地方協議会『中部圏の地域整備に関する調査』、1985.3、111-126頁
- 15 「歴史・地理」、春日井市史編纂委員会『春日井市史 地区史編2』1986.3、9-411頁（共著者：林上、高木彰彦、北村修二）
- 16 「バン格拉デシュの風景」、『富山大学学園ニュース』No.52、1986.6、12-13頁
- 17 「高齢者生きがい対策事業に関する事例」、桂木健次『地域（コミュニティ）の福祉環境と

- 社会組織に関する基礎的研究—富山における事例研究—』、1987.3、35-38頁
- 18 「地図の色と香と音」、教育総合研究所『中学社会 大書』、1987.4、6-7頁
 - 19 「87年度インド・バンガラ行」、広島大学総合地誌研究資料センター『地誌研ニュース』2、1988.7、9-13頁
 - 20 「農村の公益的機能に関する現地調査—農村年表—」、農村開発企画委員会『農村の公益的機能に関する調査』、1989.3、37-51頁
 - 21 「景観保全および保健・休養機能に関する調査：長野県北安曇郡白馬村」、農村開発企画委員会『農村の公益的機能に関する調査』、1990.3、14-38頁
 - 22 「バラモンの火葬」、『富山大学学園ニュース』No. 70、1990.2、7-9頁
 - 23 「輪島の朝市と売り手」、富山大学教養部地理学コロキウム年報『ARERE』2、1991.1、19-29頁
 - 24 「「香」のある新聞記事」、富山大学図書館報『書香』No. 18、1991.10、1-2頁
 - 25 「サンディラ日記」、富山大学教養部地理学コロキウム年報『ARERE』3、1991.11、1-42頁
 - 26 「市と神—広島編—」、『富山大学人文学部地理学実習報告—広島編—』、1994.8、74-77頁
 - 27 「屋久島中間村における『明治14年名寄帳の分析』」、富山大学教養部地理学コロキウム年報『ARERE』5、1995.6、25-34頁
 - 28 「地域をいかに語るか—出雲発東西文化論—」、『富山大学人文学部地理学実習報告—Matsue Report—』、1996.3、204-212頁
 - 29 「奥能登と白山麓における集落機能と人口動態」、過疎村落研究会『集落の過疎化過程・現状と展望—石川県奥能登と白山麓の事例から—』、農村環境整備センター、1996.7、23-44頁
 - 30 「第三世界とアジア NIES」、富山大学教養部地理学コロキウム年報『ARERE』6、1996.7、128-131頁
 - 31 「カレー談義」、富山大学保健管理センター『季刊ほけかん』No. 3、1996.9、1-2頁
 - 32 「インドでチャイを」、東海志にせの会『あじくりげ』No. 490、1997.3、40-43頁
 - 33 「カースト社会と食事」、東海志にせの会『あじくりげ』No. 507、1998.8、41-44頁
 - 34 「ネパール山岳地帯での食の風景」、東海志にせの会『あじくりげ』No. 521、1999.10、40-43頁
 - 35 「城と宮をつなぐ街—名古屋市—」、平岡昭利・野間晴雄編『中部 I 地図で読む百年』古今書院、2000.7、1-8頁
 - 36 「人は石垣、人は城、信玄の息づく街—甲府市—」、平岡昭利・野間晴雄編『中部 I 地図で読む百年』古今書院、2000.7、97-102頁
 - 37 「猿と人の食の葛藤史—屋久島にて—」、東海志にせの会『あじくりげ』No. 533、2000.10、41-44頁
 - 38 「「イカと日本人」序章」、東海志にせの会『あじくりげ』No. 545、2001.10、13-15頁
 - 39 「第11回国際歴史地理学会に参加して—そしてイチロー—」、名古屋大学地理学教室談話会だより『古今東西』14、2001.10、1-9頁
 - 40 「西のかた陽関をいずれば」、『環 KWAN』創刊号、名古屋大学環境学研究科、2002.4、3-6頁

- 41 「島畑の幸」、東海志にせの会『あじくりげ』No. 555、2002.8、39-42頁
- 42 「甦る地域空間—尾張と美濃の近世・近代—」、名古屋大学附属図書館ニュース『LIBST』No. 3、2003.3、3-6頁
- 43 「ネパールと井関先生」、名古屋大学環境学研究科・文学部地理学教室『井関弘太郎先生を偲んで』、2003.6、118-121頁
- 44 「開発と援助：バングラデシュの87年洪水に遭遇して」、『人間・社会環境学の構築ワークショップ報告書』名古屋大学環境学研究科社会環境学専攻、2004.2、229頁
- 45 「木曾三川の治水史と高木家文書河川絵図」、名古屋大学環境学研究科持続性学プロジェクト『伊勢湾とその流入地域の環境データソースブック』2004.3、106-112頁
- 46 「木曾三川・濃尾平野の治水」、『地図情報』24-1、2004.5、22-25頁
- 47 「バラモン葬儀初七日の食事作り」、東海志にせの会『あじくりげ』No. 574、2004.6、39-41頁
- 48 「忘れられた日本の景観—愛知一宮の島畑—」、『名古屋大学文学部・文学研究科同窓会 News Letter』第2号、2005.1、背表紙
- 49 「『鸚鵡籠中記』食事考」、東海志にせの会『あじくりげ』No. 583、2005.5、39-41頁
- 50 「甲斐国—富士を冠する各種国絵図—」、国絵図研究会編『国絵図の世界』柏書房、2005.7、75-78頁
- 51 「伊勢湾・三河湾干拓史」、名古屋大学環境学研究科編『環境学 研究ソースブック—伊勢湾流域圏の視点から—』藤原書店、2005.12、52頁
- 52 「社会環境学の挑戦」、『人間・社会環境学の構築ワークショップ報告書3』名古屋大学環境学研究科社会環境学専攻、2006.3、1-12頁
- 53 「南インド、炎天下の食事」、東海志にせの会『あじくりげ』No. 592、2006.4、39-41頁
- 54 「More Regular than Random」、『石水照雄先生と地理学』名古屋大学地理学教室、2006.5、11-12頁
- 55 「壺作りカーストの日常—生業と通婚—」、『環 KWAN』12号、名古屋大学環境学研究科、2006.12、1-9頁
- 56 「日本の地域環境史をめぐる諸問題」、『人間・社会環境学の構築ワークショップ報告書4』名古屋大学環境学研究科社会環境学専攻、2007.3、1-20頁
- 57 「チリとチョムチョム」、東海志にせの会『あじくりげ』No. 601、2007.3、39-41頁
- 58 「災害対策—豪水対策としての克水・利水・遊水—」、『環 KWAN』15号、名古屋大学環境学研究科、2008.9、8頁
- 59 「ラマダーン(断食月)の食事」、東海志にせの会『あじくりげ』No. 617、2008.10、36-38頁
- 60 「昆虫食」、東海志にせの会『あじくりげ』No. 628、2009.11、39-41頁
- 61 「元禄武士の食習慣」、東海志にせの会『あじくりげ』No. 637、2010.10、39-41頁
- 62 「今、国際連携の意義を問う」、『環 KWAN』20号、名古屋大学環境学研究科、2011.3、6頁
- 63 「3.11と環境学」、『環 KWAN』21号、名古屋大学環境学研究科、2011.9、2頁
- 64 「尾張なごやの酒事件」、東海志にせの会『あじくりげ』No. 648、2011.11、39-41頁
- 65 「永田鉄山の真崎甚三郎宛書簡」、『人間環境学研究』9-2、2011.12、113-115頁（共著者：川田稔、服部亜由未）
- 66 「浜口雄幸の井上準之助宛書簡」、『人間環境学研究』9-2、2011.12、125-128頁（共著者：

川田稔、服部亜由未、石川寛)

- 67 「環境学研究科の10年」、『環 KWAN』22号、名古屋大学環境学研究科、2012.3、2頁
- 68 「水より安いチェコビール」、東海志にせの会『あじくりげ』No. 657、2012.10、39-41頁
- 69 「省エネ時代の発想力」、『環 KWAN』23号、名古屋大学環境学研究科、2012.9、2-6頁（共対談者：久野覚）
- 70 「バングラデシュの新聞から自然災害を読む」、アジア経済研究所『アジア研ワールド・トレンド』No. 208、2013.1、43頁

学会発表

- 1 “Labour migration in Kai province during the Tokugawa era”, 24th International Geographical Congress at Tokyo, Japan, 1980.9.3
- 2 「バングラデシュ農村における定期市商人の行動」、人文地理学会大会（名古屋大学）、1986.11
- 3 「インド、西ベンガル州タムルク地区における市商人について」、人文地理学会大会（京大会館）、1988.11.8
- 4 「近世尾張の地域構造—尾張徇行記を資料に—」、人文地理学会大会（京大会館）、1988.11.8（共発表者：梶川勇作）
- 5 “Economic Development in Non-Rice Producing Villages in Pre-Modern Japan”, 10th International Economic History Society at Brassel, Belgium, 1990.8
- 6 「北インド農村地域における定期市商人について」、人文地理学会大会（大阪商科大学）、1990.11.11
- 7 「近世尾張の地域構造」、人文地理学会大会（大阪教育大学）、1995.11.11
- 8 「近世後期津山町方の通婚圏」、社会経済史学会（香川大学）、1996.11.3
- 9 “Spatial Differentiation in the Nobi Core: Villages and Town in Owari, Central Japan,1672-1822”, 11th International Conference of Historical Geographers at Quebec, Canada, 2001.8.15
- 10 「近世屋久島の家族構成」、第45回歴史地理学会（和歌山市民会館）、2002.5.25
- 11 “Household and Economy in Yakushima Island, Southwest Edge of Japan,172”, International Conference of Historical Geographers at Auckland, New Zealand, 2003.12.11
- 12 “Precious Topographies of pre-modern Japan”, European Social Science History Conference at Berlin, Germany, 2004.3.27
- 13 「近世津山における町人の家族構成」、第47回歴史地理学会大会（島根県民会館）、2004.7.3
- 14 “Marriage Pattern in Kai Province, Central Japan during the Tokugawa Period”, Social Science History Association at Chicago, USA, 2004.11.19
- 15 「バングラデシュにおける壺作りカーストの生業と通婚」、日本地理学会春季学術大会（青山学院大学）、2005.3.28
- 16 “Marriage Migration of Hindu Women in Mirzapur, Bangladesh”, Social Science History Association at Portland, USA, 2005.11.6
- 17 「『安永風土記』にみる仙台藩村落の人口と民力」、社会経済史学会第75回全国大会（関西大学）、2006.9.15

- 18 “Spatial Differentiation in the Nobi Core, Villages and Towns in Owari, Central Japan, 1672-1822”, AAAG at Chicago, USA, 2006.3.9
- 19 「尾張藩士朝日文左衛門の描く妻とその外出行動」、第49回歴史地理学会大会（近江八幡市）、2006.6.24
- 20 “Shifting Cultivation and Family Composition in Shirakawa-go, Central Japan”, International Conference of Historical Geographers at Hamburg, Germany, 2006.8.21
- 21 「尾張における田畑の景観と開発」、考古学研究会東海例会報告（名古屋大学）、2007.2.3
- 22 「近世因島の過去帳」、第1回近世地域情報研究会（香川大学）、2008.1.6
- 23 「戦前期、南種子島における庶民の生活誌—1930年代の『大崎蘇市日記』より—」、平成19年度第6回「生活様式と社会環境」研究会（名古屋大学経済学部）、2008.3.10
- 24 “Water Environment of Nobi Area, Central Japan, International Workshop on Water Culture: South Bohemia, Upper-Rhine, and the Seto Inland Sea Regions in Japan” at Kagawa University, 2008.11.6
- 25 “Professor G. W. Skinner’s Fieldwork in Japan”, The Association of Asian Studies at Philadelphia, USA, 2010.3.27
- 26 “Core-Periphery Structure of the Nobi Region, Central Japan”, Workshop on Motor Cities: A Comparative History of Nagoya and Birmingham at Birmingham, England, 2010.4.9
- 27 “Marriage System and Migration in Tangail, Bangladesh”, European Social Science History Conference at Ghent, Belgium, 2010.4.16
- 28 「バングラデシュにおける21世紀型水環境社会の構築をめざして」、第57回経済地理学会大会（広島大学）、2010.5.22
- 29 「瀬戸内海諸島の過去帳にみる死因と死亡数の変化」、第62回日本人口学会（お茶の水女子大学）、2010.6.13
- 30 「馬場家の文書紹介と宗門改帳の世界」、重要文化財「馬場家住宅」公開講座（あがたの森文化会館、松本市）、2010.9.4
- 31 「ネパール山岳地帯住民の外出行動—ポーターから海外出稼ぎへ—」、日本地理学会秋季学術大会（名古屋大学）、2010.10.3
- 32 “Local gazetteers and Local-check survey records in Tokugawa and Meiji Era in Japan”, Association of American Geographers at Seattle, USA, 2011.4.15
- 33 「近世古文書に見る巨大地震と東日本大震災から考える津波対策」、第55回歴史地理学会（新潟大学）、2012.5.21
- 34 “Change of Periodical Markets in Rural Bangladesh, 1986-2011”, International Conference of Historical Geographers, Prague, Czechia, 2012.8.10

講演

- 1 「ヒンドゥーの花嫁」、昭和63年度富山大学公開講座：外国で見たこと考えたこと（富山大学）、1988.10.5
- 2 「三河地域史をいかに語るか」、豊橋中日文化センター公開講座（豊橋グランドホテル）、2003.3.13

- 3 「越境する猿一屋久島にてー」、名古屋大学東山地区公開講座（名古屋大学シンポジオン）、2003.9.25
- 4 「江戸期なごやアトラスと尾張名所図会の世界」、名古屋観光コンベンションビューロー第2回観光施設部会講演会（トヨタテクノミュージアム産業技術記念館）、2005.3.4
- 5 「地域環境史事始め」、名古屋大学附属図書館公開講座（名古屋大学附属図書館）、2005.4.9
- 6 「バングラデシュにおける洪水」、静岡県立森高校教育講座（静岡県立森高校）、2005.9.10
- 7 「尾張平野の原風景と景観保全についてー鳥畑を中心にー」生涯まちづくり講演会（蟹江町産業文化会館）、2006.12.3
- 8 “Sustainability and Environmental Studies”, Conference on Rural Bangladesh at Bangladesh University of Engineering and Technology Dhaka, Bangladesh, 2006.12.24
- 9 「尾張における田畑の景観と開発」、考古学研究会東海例会（名古屋大学文学部）、2007.2.3
- 10 「古地図から読み解く名古屋のまちづくり」、まちづくり講演会（名古屋都市センター）、2007.3.4
- 11 「からし菜のキャンパールー名大生のバングラデシュNGO 体験記ー」、名大祭公開講座（名大工学部2号館）、2007.6.8
- 12 「なごやの歴史発見」、なごや環境大学教育講座（伏見ライフプラザ）、2007.12.15
- 13 「南アジア・いちば・フィールドワーク」、静岡県立吉原高校教育講座（静岡県立吉原高校）、2008.7.16
- 14 「近世名古屋絵巻ー江戸時代の名古屋を歩くー」、岩倉市民講座（岩倉市）、2008.10～2009.3
- 15 「近世尾張絵巻」、中日文化センター講座（中日文化センター）、2009.4～10
- 16 「宮本常一の地域論ー屋久島民俗誌、宝島民俗誌よりー」、「持続可能な社会の心」研究会（足助町）、2009.10.19
- 17 「地域環境史構想」、第2回足助研究会（足助町百年草）、2010.3.5
- 18 “Japan Historical GIS—Spatial Differentiation in the Nobi Core”, Reischauer Institute of Japanese Studies, Harvard University, USA, 2010.4.1
- 19 「バングラデシュにおける洪水常襲地農村の生活誌」、歴史人口学セミナー第41回研究会（麗澤東京センター）、2010.5.1
- 20 「名大生たちのバングラデシュ」、名古屋大学文学部模擬授業（新川高校）、2010.7.22
- 21 「『鸚鵡籠中記』に見る元禄時代の自然災害」、県市大学地域防災研究交流会（愛知県災害対策本部）、2010.8.2
- 22 「馬場家の風景と宗門改帳の世界」、重要文化財「馬場家住宅」公開講座（松本市あがたの森文化会館）、2010.9.4
- 23 「南アジアの社会と文化」、出張講演（愛知淑徳高校）、2010.11.17
- 24 「江戸期中川区の歴史地理的環境ー地誌・絵図・図会からー」、名古屋市市政資料館 × 文化小劇場連携企画特別講演会（中川小劇場）、2011.10.12
- 25 「鸚鵡籠中記にみる尾張藩士の食文化」、「サロン・ド・じゅらく」文化教養講座（聚楽亭）、2011.2.14
- 26 「近世古文書にみる巨大地震と東日本大震災から考える津波対策」、新修名古屋市史 特別講演会（中区役所）、2011.11.4

- 27 “Education and Research in Graduate School of Environmental Studies”, Exchange Program between BREN of UCSB and GSES of Nagoya University at University of California at Santa Barbara, USA, 2011.12.2
- 28 「東日本大震災から考える津波対策—やどかりプランと空襲警報—」、新修名古屋市史を語る集い（ウイル愛知）、2012.12.1
- 29 「インドの子どもたち」、出張講演（富山県射水市立大門小学校）、2012.9.13